

東京ベイ e S Gまちづくり戦略（仮称）ワーキンググループ

（令和 3 年 11 月 9 日）

議事概要

- （1）ベイエリアのまちづくりの進め方について 【資料 1】
- （2）東京ベイ e S Gまちづくり戦略（ドラフト）案について【資料 2】
- （3）東京ベイ e S Gまちづくり戦略（ドラフト）案の確認依頼について【資料 3】

説明概要

（1）ベイエリアのまちづくりの進め方について 【資料 1】

- 2018 年 7 月以降「ベイエリアビジョン」（仮称）として 2040 年代のベイエリアの将来像とその実現に向けた具体的な戦略、取組を検討してきた。
- 新型コロナウイルス感染症に直面、都市のあり様そのものを改めて見直す「社会の構造改革」など社会背景を踏まえ、50 年・100 年先を見据えた都市の姿や「サステナブル・リカバリー」という考えで、2021 年 4 月に「東京ベイ e S Gプロジェクト」Version1.0 が公表された。
- 東京ベイ e S Gまちづくり戦略（仮称）は東京ベイ e S Gプロジェクトの思想に基づく各拠点の将来像や、実現に向けたまちづくりの取組を展開することで東京ベイ e S Gプロジェクトを下支えしていく。

（2）東京ベイ e S Gまちづくり戦略（ドラフト）案について 【資料 2】

- 東京ベイ e S Gまちづくり戦略（ドラフト）案を説明
- 11 月 25 日にプレス発表、パブリックコメントの開始（～12 月 24 日）
- 2022 年 3 月目途に東京ベイ e S Gまちづくり戦略を公表予定

（3）東京ベイ e S Gまちづくり戦略（ドラフト）案の確認依頼について 【資料 3】

- 東京ベイ e S Gまちづくり戦略（ドラフト）案に対して、関係各局から意見照会を実施

意見交換

- 今後の都市計画に反映されていくのか。今後の動きを教えて欲しい。
 - 都市開発諸制度などの見直しが必要なものはどのような見直しが必要か検討し、反映していく。
 - 引き続き庁内の連携体制が必要であり、有識者等の意見を取り入れながらアジャイルしていく。
- 対象エリアの境界が不明確になっているが、今後、ドラフトで示された取組はどこを対象にどの部署で実施するのかを明確にしていく必要があるのではないか
 - しっかりお示しするようにする。